

小・中学校再編に係る 市長部局と 教育委員会との連携

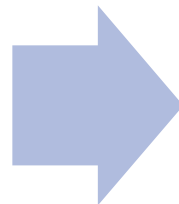
阿南市総合教育会議（教育総務課）

「阿南市立小・中学校再編基本計画」

- 市長部局との連携と施設の有効活用（基本計画から引用）
 - 再編統合を実施するにあたり、『阿南市総合計画』をはじめとする市の各種計画との整合性を図り、地域活性化につながるよう取り組みます。また、再編統合後に学校として使用しない施設については、休校または多様な利活用の方法を図ることができる廃校を検討します。

「小・中学校再編実施計画（修正素案）」 パブリックコメント実施

88人から203件の意見が寄せられる。



学校再編には市長部局との連携が欠かせないことを改めて再確認した。

寄せられた意見から（一部、修正）

1. 各種団体が「今自分たちに何ができるか？」と考え行動することが将来の地域のためにもなると思う。
2. 財政等の面からも説明が欲しい。
3. 地域コミュニティの拠点として、小学校はなくてはならない。
4. 廃校、休校を利用して、夏休みに旅行などに行けない家族を受け入れて自然体験をしてもらう。
5. 阿南市総合計画において移住定住、交流人口の増加を掲げているので、子育ての充実及び突出した特徴を持たせてほしい。
6. この流れで行くと若者の人口流出が進み高齢者のみが残される。
7. 合併後の校舎の利用を確定させてからの合併を望む。
8. 人口増につながるような施策を阿南市独自に取り組んでほしい。
9. 現在休校にしている施設をどうするのか。今までもそのまま朽ちていくのを待っている状況。
10. 市内の人口推移を既定路線としているが、人口政策、地域振興は教育委員会部局だけでは不可能なので、産業政策を市長部局、市民とともに作り上げていってほしい。

寄せられた意見から（一部、修正）

1. 学校再編問題について教育部門の都合だけに注目するのではなく、部門の壁にとらわれず組織全体で課題とすべき。
2. まちづくりの視点が一切ないことが問題だと思う。
3. 編成には利点があるが、先々のフォロ－体制の整備をまず行ってほしい。避難所としても利用することを考えると、たまに利用する施設（コンサート会場等）よりも常に利用する施設であってほしい。
4. 南海トラフ地震を想定し、被害が想定されていない小学校をきちんと残しておくべき。
5. 地域活動の拠点となったとしても、無人となると災害時の利用が不安。
6. 小学校が廃校になることにより近くに広い避難所がなくなってしまうのではないかと心配。
7. 防災面では、山間の小規模校が避難生徒の臨時の受け入れ先となることも想定しておいた方がいいかもしれない。
8. 社会動態が転出超過になっているからこそ地域に根付いた教育が必要。少子高齢化が進む中でも町の歴史や風土の中で子どもが豊かに育つモデルを阿南市から生み出すことが大事なのではないか。

連携内容の分類

地域活性化

防災

通学路

施設の活用

連携

就学前

文化

まちづくり

交通

市長部局等との連携

企画部

総務部

市民部

環境管理部

保健福祉部

産業部

建設部

都市整備部

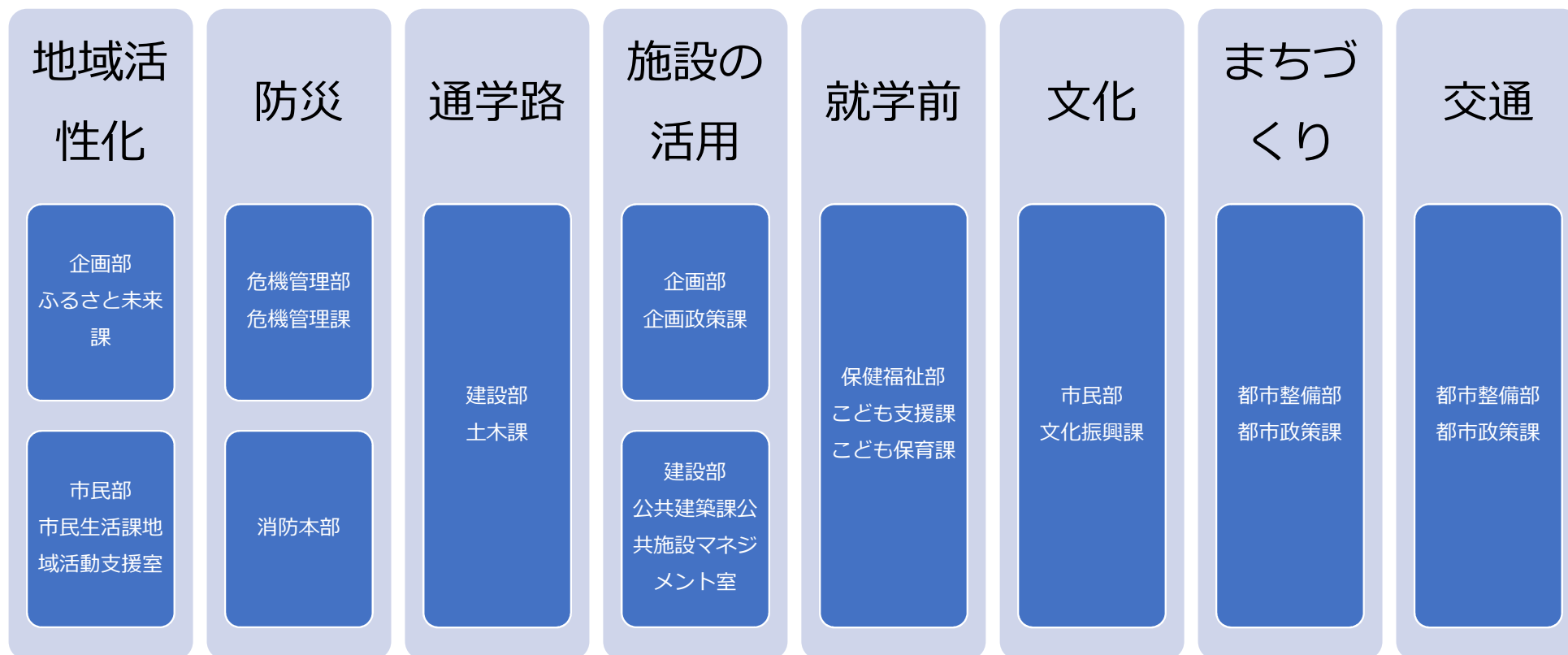
水道部

教育委員会

消防本部

選挙管理委員
会

連携の一例



連携の一例

地域活性化

企画部
ふるさと未来課

市民部
市民生活課地域活
動支援室

防災

危機管理部
危機管理課

消防本部

通学路

建設部
土木課

施設の活用

企画部
企画政策課

建設部
公共建築課公共施
設マネジメント室

連携の一例

就学前

保健福祉部
こども支援課
こども保育課

文化

市民部
文化振興課

まちづくり

都市整備部
都市政策課

交通

都市整備部
都市政策課

施設の有効活用（現在休校中の学校）

- 伊島小・中学校
- 蒲生田小学校
- 新野西小学校
- 福井南小学校
- 大井小学校

人口減少社会に立ち向かい “豊かでキラリと輝く”まちへ

- みんなが健康で自立した生活ができるまちづくり
 - 子ども・子育て支援等
- 安全で安心な暮らしを実感できるまちづくり
 - 防災・消防、交通安全・防犯、コミュニティ等
- 豊かな心と生きる力を育むまちづくり
 - 歴史・文化等
- 地域資源を生かした新たなにぎわいと活力を創出するまちづくり
 - 農業・林業・漁業、交流等
- 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり
 - 道路・交通等
- 市民と共に創る持続可能なまちづくり
 - シティプロモーション等
- **質の高い教育は個人とコミュニティと社会に多大で多様な効果をもたらす**